

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・国際物流分野(2/3)

| | 評価区分(*1) | 総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味) | I 目標に向けた取組の進捗に関する評価 | II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | III. 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2) | 総合評価に係る専門家所見(主なもの) |
|----------------------|----------|---------------------------|--|--|----------------------------|--|
| | | | | | | |
| 未来創造「新・ものづくり」特区(浜松市) | 準 | B 3.8 | C 3.3 進捗度 ・農業参入した企業による耕作面積増 49% ・企業の新規立地件数 175% 等 | B 3.7 規制の特例等 ・市街化調整区域への企業立地に係る農振法・農地法のガイドラインの弾力的運用等 地域独自の取組 ・市独自の、固定資産税・事業所税に対する補助制度等 | +0.25 | <p>・初期段階としては十分な成果が上がっているように見えるが、現状では工業部門の移転と農業部門の進捗にかなり差があるように見える(※)。これではバランスはもちろん、相互の連携にまでなかなか至らないと考えられ、農業部門のスピードアップを図る必要がある。</p> <p>・地域独自の取組(事業開発助成金、イノベーション戦略プログラム、立地促進支援事業、固定資産税・事業所税への補助金制度など)が十分進められている点が高く評価できる。</p> <p>※: 評価指標1「産地力の強化」進捗度49%(農業参入した企業による耕作面積増: 平成24年度目標10ha、実績4.9ha)に対し、評価指標2「企業立地による地域産業の振興及び雇用の拡大」は ①新規立地件数: 進捗度175%(平成24年度目標20件、実績35件)。 ②新規立地に伴う雇用増: 進捗度119%(平成24年度目標150人、実績179人。)</p> |

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。